

未来に向かって環境のトータルアドバイザー

RIKKA REPORT

立華株式会社 静岡県富士市本市場 422 01 〒416-0906 : 清水営業所
 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654 URL <http://www.rikka.co.jp> E-mail info@rikka.co.jp

「建築物に係る石綿の事前調査における主な留意点について」が厚生労働省から通達されました。この通達は、事業者が石綿含有建材の使用状況を適切かつ有効に把握することを目的としています。

富士市・沼津市・静岡市において、民間建築物の吹付けアスベスト建材が施工されているものを対象に、アスベスト含有の有無に関する分析調査に対し、補助制度が導入されています。補助条件として「建築物石綿含有調査者」での調査実施が義務付けられています。

詳細については、**必ず調査実施前**に下記申請先へお問い合わせ下さい。

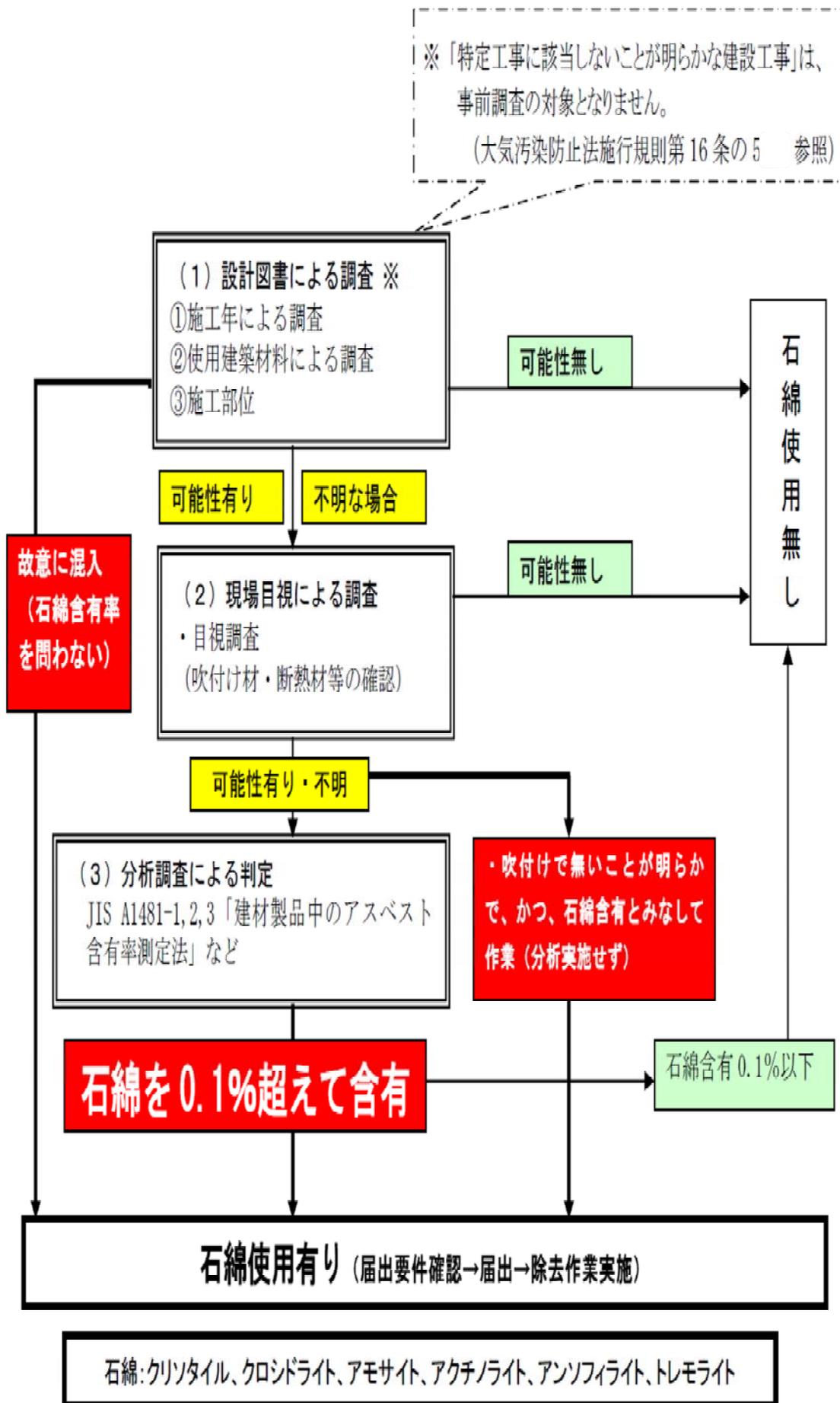
	富士市	沼津市	静岡市
対象者	各市内の民間建築物所有者または管理者		
対象建築物	吹き付けアスベスト建材が施工されている各市内の民間建築物		
補助金額	含有分析調査に要する費用(1棟あたり上限25万円)		
申請先	建築指導課 (0545-55-2791)	まちづくり指導課 (055-934-4766)	建築指導課 (054-221-1267)

弊社では「建築物石綿含有調査者」が、石綿(アスベスト)含有の可能性のある「吹付け材」「保温材・耐火被覆材・断熱材」「成型板」等の分析調査を承ります。下記担当者までお気軽にご連絡下さい。

環境分析部 加藤雅士、城所 亨
 環境調査課 広瀬崇史(建築物石綿含有調査者)
 環境分析課 池田博一、入野一人

富士市本市場422の1 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654

1. 石綿(アスベスト)含有調査(事前調査)の流れ



2. 石綿含有調査ご依頼時のお願い

1)調査対象となる建築物情報のご提示(書面調査)

「①施工年②使用建材③施工部位」が掲載された設計図書または施工図等をご準備下さい。

2)現地調査時における所有者の立会

内装や下地等、外観からでは直接確認できない部分を目視確認させて頂きます。つきましては、調査時に建築物所有者の現場立会をお願いします。

3. 石綿(アスベスト)とは

天然の繊維状の鉱物で、法的にはクリソタイル(白石綿)、アモサイト(茶石綿)、クロシドライト(青石綿)、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライトの6種類が定義されています。

(「厚生労働省労働基準局長通知 基発第0811002号」による。)

これら石綿は有害性が高いことから、平成18年9月より全面的に輸入・製造・使用が禁止となりました。

また、石綿建築材料は様々な種類のものがあり、解体等工事中の発じん性の程度によって、以下の3種類に分かれています。

作業レベル	発じん性	建材の種類
レベルⅠ	著しく高い	石綿含有吹付け材
レベルⅡ	高い	石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材、石綿含有断熱材
レベルⅢ	比較的低い	石綿含有成形板等(スレート材等)

4. 石綿含有分析

石綿含有分析には[定性分析]と[定量分析]があります。

①定性分析

石綿の含有の有無を調べるものです。
分散染色法^(※)とX線回折法の結果を
総合的に判断します。

^(※)分散染色法：それぞれの石綿の種類
に応じた浸液を用いて
位相差分散顕微鏡で観
察し、繊維状物質を計
測します。



②定量分析

定性分析で石綿の含有が確認されたものについて、含有量の割合
を調べます。

なお、定性分析にて石綿の含有が確認されなかった場合には、定量
分析は行いません。